

毎日使う GIS—「地理基礎・歴史基礎」実現に向けた方策

伊藤 智章（静岡県立吉原高校）

1. はじめに 疑似「地理基礎」「歴史基礎」をやっています。

- ・ 現任教・・・2年生生理系クラス（3クラス）を担当
- ・ 「世界史 A」（2単位：週2時間）、「地理 B」（2単位：週2時間）
・・・3年で週2時間、計4単位
- ・ 昨年まで「地理 B」と「世界史 A」を別々の教員が担当
⇒本年度は一本化。一人の教員（報告者）が週4時間で担当。
⇒内容をミックスしてしまうのではなく、「世界史 A」と「地理 B」
を単独別々に展開しているが、授業のスタイルは同じ
 - 内容をクロスオーバーさせることによる効果が高い
 - パソコン教室の空き状況に柔軟に対応出来る（週2では厳しい）
 - 「理科基礎」は、各科目別の教員が担当する可能性が高いが、
「地理基礎」「歴史基礎」を1人の教員が行うべき。

2. 事例紹介

（1）提示型 GIS・・・デジタル掛地図による集団学習「システム」

- ①教科書の内容を B5 1枚～2枚（B4 半面～全面）の穴埋めプリントを配布（2分）。
 - ②最初の4～6人グループで教科書を見ながら「穴埋め」（その間、ゆっくりと機材を設営し、机間巡視）（10分）
 - ③学習の導入の動画を見る（必要に応じて合間に挟む）（5分）
 - ④穴埋めの答え合わせ（スライド提示でテンポよく）（15分）
 - ⑤今日の“Work”・・・白地図を使った作業を（15分）
⇒「MANDARA」や「Google Earth」を使って「お手本」を示す。
- 教師の「語り」を15分以内に収めるのが理想
 - 対面グループ学習・・・プロジェクタの投影距離を稼ぐための苦肉の策だったが、好評である。

※世界史 A の事例・・・ナポレオンのフランス

(2) 50分完結型の GIS 操作実習

- ・「ソフトの操作の習得」よりも、単元の内容理解の深化と動機付けが第一。
- ・オープンエンドな「考えてみよう」「調べてみよう」ではなく、クローズな形の「確認」と「考察」
- ・不足して放置されがちな地名の知識を定着させる＝知らないことに気づかせる
 - ⇒「該当する国を塗りつぶして、国名を記入しなさい」
 - ⇒「上位10位までの県を塗りつぶして、県名を記入しなさい」
＝あくまで操作はシンプルに。一番遅い生徒に合わせて内容を作る。速い生徒には「教師役」に回らせる。
- ・「提示型 GIS」でフォロー・・・発展的な描画はあらかじめ作って見せる。

※地理 B の授業例：「データで見る日本の農業」

3. 考察 常に GIS のある「地理基礎」「歴史基礎」実現のために

- (1) 地理基礎・歴史基礎で GIS を「あって当たり前」の教具にする。
- (2) 「提示 GIS」と「作業 GIS」をどう絡ませるかが課題
- (3) 地図の中身に凝らないでシンプルに GIS ソフトの特性を生かした教材作り
 - ⇒衛星写真の Google Earth は提示に向かない
 - ⇒万能づかいの MANDARA の「白地図表示」
- (4) 「MANDARA」×「Google Earth」がメジャーになる
 - ⇒「インストール禁止問題」をめぐる管理者との攻防・・・。
- (5) 担当者は揃えたほうがよい（週2×2でなく、週4の基礎トレ）

4. まとめ

- ・「ミニ高校地理」ではなく、全く新しい科目を立ち上げる心構えを。
- ・GIS は目的でなく手段・・・とにかく使い続ける。
- ・「日本史 or 地理の選択履修」は、早くやめるべき⇒時代に即さず。
- ・現行の A 科目の組み合わせで、「地理基礎」「歴史基礎」的なことはできる⇒実験校以外のすべての教員が当事者意識を持つべき

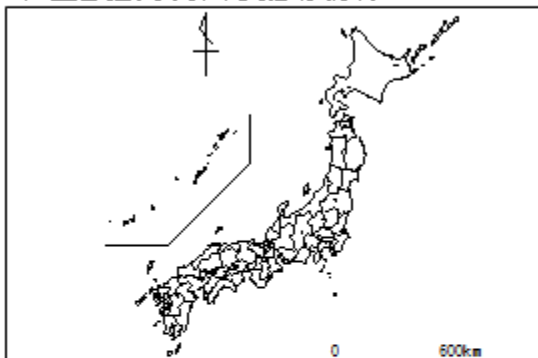
【資料】 データマップで見る「日本の農業」（地理 B）

データで見る日本の農業 ワークシート（提出用）

2年 組 番 氏名

【1. 小さくても稼ぐ農業】

経営面積1ha未満の農家が占める割合が60%以上、かつ一戸あたりの収入が全国平均値（482万円）以上の道府県を、自治図上で塗りつぶし、県名を記入しなさい。



Q1 経営面積が狭い農家が多い府県が日本に多いのはなぜだと考えられますか？

.....

Q2 経営面積が狭いにもかかわらず、収入が多い県では、どのような農業（栽培される作物種、栽培形態）がされていると考えられますか？あなたの考えを述べなさい。

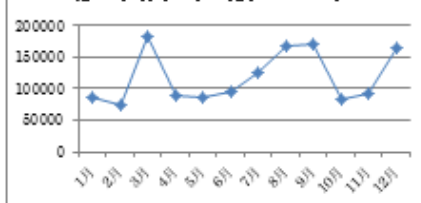
.....

【Part2】1年中どこかで栽培されている菊・菊

Q1 各月の出荷額と合計出荷額を表にまとめたなさい。

月	1月	3月	5月	8月	9月	12月
1位	愛知県					
2位	沖縄県					
3位	福岡県					
全国合計 出荷額 (億円)	10.7					
一本あたりの 平均価格 (円)	38.2					
最高値を記録する県および 金額	92 愛媛県					

菊の出荷（金額ベース）



単位：万円

【資料1】世界史の授業ワークシート

2年世界史 その6 教科書 108~110, 資料集 182~184,
フランス革命②

ナポレオンのフランス—栄光と挫折—

(1) “軍人” ボナパルト

～ 皇帝 “ナポレオン1世へ”

- ・ 1769年 8月 15日、
- フランス南部（1）の下部貴族、
- ボナパルト家に生まれる。
- ・ 1784年 15歳でパリの士官学校に入校。
- ・ 方言と背の低さにコンプレックスを、
- 抱くも、新設された（2）科、
- の見習い士官として頭角を表す。
- ・ 1795年（26歳）王党派の反乱を鎮圧して、
- 知名度を挙げる。
- ・ 1796年（26歳）イタリア遠征（対オーストリア戦）の司令官に任命、
- ⇒オーストリア軍を撃破。
- ・ 1798年（28歳）エジプト遠征軍（対イギリス戦）司令官（～1799）
- 1799年（29歳）パリに凱旋。（3）の
- クーデターで政権を掌握（裕福な市民の支持）
- =（4）政府を樹立し、自らが「第一統領」に就任
- 1802年（32歳）（5）を実施し、自らが、
- 「終身統領」に就任。
- 1804年（34歳）国民投票で“皇帝”（6）となる。

(2) ナポレオンの政治—何が支持されたのか？

- ①政治・経済・教育の全国統一・・・1804（7）
- ・特に、（8）（重さ、長さの単位）統一は、
- 商工業者に歓迎された（メートル法）
- ・初等教育を義務化 「読み書き計算」ができる国民
- ⇒一定の能力を備え、忠実な（9）や



コルシカ島の位置とパリ、
（○で囲む）

【Work】（教科書 110p）

⑩ナポレオンに服属した国・同盟国を塗りつぶしなさい。

